

編 集 後 記

恒例のゴールデンウィーク（黄金週間）が終わりました。連休が前半と後半に分散した結果、人出は6,171万人と例年に比較して4%程度落ち込んだ模様です。「近場で手軽に割安に」で、庶民の財布のヒモはさほど緩まなかったようです。日本経済に多少の経済効果があったのでしょうか。

いよいよワールドカップが世界で初めて、日韓で共同開催されます。日本は、ドーハの悲劇から立ち直り、フランス大会からの連続出場となります。組合せは、H組でベルギー・ロシア・チュニジアと、くじ運に恵まれました。

ワールドカップ開催の6月は、梅雨の時期です。毎日の天気が気になるところです。今年は、空梅雨で終わる、最高のコンディションで世界最高のプレーを観戦したいものです。

一方、国内の政治・経済の状況は、小泉総理は名誉ある新官邸の初住人となりましたが、秘書の口利き問題等で国会審議は紛糾しております。

7月号予告

- ・移動式プロテクタを用いた発破によるトンネル活線拡張工法（エルトン）の施工
- ・内胸引抜き再利用型シールドマシンによる下水道再構築工事—文京区本駒込一、三丁目付近再構築工事—
- ・岩盤対応型泥水シールド機の設計と施工—南熱海幹線管渠建設工事その3—
- ・山岳トンネル工事における爆薬の遠隔装填システムの導入
- ・トンネル工事における連続ベルトコンベヤシステム
- ・プラズマによる破砕技術の開発
- ・平成13年度官公庁で採用した新機種
- ・平成13年度建設業界で採用した新機種（その1）

建設業界は、再編・淘汰が相次ぐなか、公共工事の10%削減でデフレと建設投資縮小が止まりません。

金融業界は、4月からペイオフが導入されましたが、みずほ銀行ではコンピューターのトラブルが発生し、金融取引上混乱しております。

政治・経済とも問題が山積しており出口が見えません。日本はどこへ向かおうとしているのでしょうか。

さて、今年から6月号も特集号となり第1回目の企画です。「アタッチメント」特集ということで、総論は、(社)日本建設機械工業会のアタッチメント部会リーダーの松田様から、その他機械メーカーの方から特色あるアタッチメントの原稿を多数の方から執筆頂き有難うございました。

2002年コネクスポ見聞録をコマツの藤川様、ずいそうは、(財)電力中央研究所・尾崎様、当協会北海道支部の(株)日本除雪機製作所の奥寺様からご執筆頂きました。

皆様、業務ご多忙にもかかわらず執筆頂誠に有難うございました。

(小幡・境)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
中野 俊次	本田 宜史
両角 常美	渡辺 和夫

編集委員長

橋元 和男

編集委員

久保 和幸	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
窪 豊則	農林水産省
江藤 祐昭	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
門田 誠治	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
百瀬 千麿	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
矢仲徹太郎	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新三菱
荒井 政男	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
斉藤 徹	日本舗道
館岡 潤仁	ハザマ
緒方浩二郎	日立建機

No.628 「建設の機械化」 2002年6月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成14年6月20日印刷

平成14年6月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; FAX (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

建設機械化研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支部	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支部	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支部	〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支部	〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27	電話 (06) 6941-8845
中国支部	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支部	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支部	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380